

第4回伊賀市非核平和推進中学生広島派遣団レポート

ヒロシマを遠い昔の話にはしません

市では、8月5日から3日間、市内中学生の代表12人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、平和記念式典に参加して世界中から集まった多くの方々と、「午前8時15分」に世界の平和を祈りました。また、被爆された方のお話を聞かせていただいたり、平和記念資料館などの施設見学を通じて、世界平和への思いを新たにしました。参加した生徒のレポートからヒロシマの様子をお伝えします。



井上茉耶さん
(府中中学校)

私は、原爆ドームを見た瞬間、すごく悲しくなりました。今は多くのビルが立ち並び楽しい町のはずなのに、ドームの周りは、63年前の悲しみがそのまま残っているように感じました。戦争の無意味さがわかりました。

原爆ドーム



田中龍馬さん
(霊峰中学校)

原爆ドームは、見るだけで、原爆の恐ろしさを感じとることができます。核兵器を使った戦争は多くの人々の命や希望をうばいました。こんな恐ろしい戦争を二度とさせないために僕は、平和の大切さを伝えていきたいです。

被爆体験講話



川本さんの話を聞いて、改めて原爆が広島に及ぼした被害の大きさに驚きました。川本さんが話してくれた、友達の輪を広げて、口さきだけの平和でないように僕たち自身の手で本当の平和を築いていかなければならないと思いました。

川本さんから聞いたお話では、私たちが勉強してきた中では学ぶことのできないことを聴かせてもらうことができました。広島で起こった出来事を過去のことにしないためにも、たくさんの人にこのことを伝えたいです。



奥西弘樹さん
(島ヶ原中学校)



東瀬実早生さん
(成和中学校)



廣岡雄也さん
(阿山中学校)

平和記念資料館は、原爆を受けた人たちの生々しい光景が目に残りつき、深く心に残りました。やっぱり戦争はすごく残酷だし、それを引きおこしたのは「人」だからもう二度とこういう事をおこさないよう行動したい。



森野杏奈さん
(緑ヶ丘中学校)

平和記念資料館の中は、たくさんの当時の様子を表した模型がありました。その中でも、原爆被災者の状況を示すジオラマには驚かされました。戦争はあんなにも人を変えてしまうのかと思いました。

平和記念資料館





林 敏男さん
(大山田中学校)

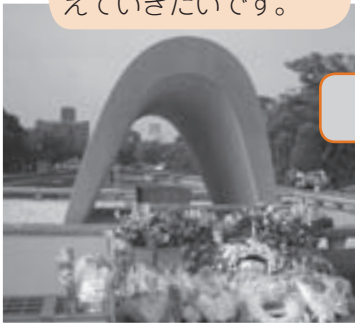


中 恵未さん
(崇広中学校)

平和記念式典では、世界中の人々が集まり、改めて今の平和に感謝し、63年たった広島原爆を忘れず、次の世代へ繋げていきたいと思いました。思いを一つ一つ積み重ねていき、その思いを伝えていきたいです。

私は平和記念式典に参加してきました。国籍や年齢に関係なく、たくさんの方が来ていました。平和について考え、広島で起きた事実を知った今、たくさんの方の命を奪った戦争を過去のことにはいけなと思いました。

平和記念式典



灯ろう流し



敷中映美奈さん
(丸山中学校)



森島一満さん
(柘植中学校)

私たちは灯ろうに平和への願いや思いを書きました。私が書いた言葉は「戦争や原爆を決して忘れません」という誓いです。そしてその思いが込められた灯ろうが川でゆっくり流れている姿を見ると、今の日本が平和であることを実感しました。

僕達は6日の夜に自分達が平和への思いを書いた灯ろうを川に流しました。他にも数えきれないほどの人が自分の思いを書いた灯ろうを流しました。僕はこの灯ろうに書いた願いや思いが未来につながるとういなと思いました。



原爆の子の像には、千羽鶴が世界中から寄せられていて世界の人々の平和に対する想いがとても伝わってきました。数えきれない程の千羽鶴から、より一層平和な世界を築いていかなければいけないと実感させられました。



森本尚太さん
(青山中学校)

原爆の子の像



山下琴乃さん
(桃青中学校)

世界中から集められたたくさんの千羽鶴はトラックいっぱいありました。その一羽一羽に平和になるようにとたくさんの方々が思いを込めて折っていることが、強く伝わってきました。